

実験 5

伝言ダイヤルの練習をしよう

実験の概要

伝言ダイヤルの練習をします。

実験のねらい

大規模な災害が発生した際、電話が被災地に集中し、つながりにくい状況になってしまいます。災害用伝言ダイヤルは災害発生時に、安否等の情報を音声により伝達する『声の伝言板』です(平常時はつながりません)。

このようなサービスがあることを知り、災害時に落ち着いて利用できるよ
うに練習しておくことがねらいです。

伝言ダイヤルの基本的な操作方法は、以下のとおりです；

《録音するとき》

- ① 171 をダイヤルする。
- ② 録音か再生かを選択する(録音は「1」)。
- ③ 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする。
- ④ メッセージを録音する。

《再生するとき》

- ① 171 をダイヤルする。
- ② 録音か再生かを選択する(再生は「2」)。
- ③ 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする。
- ④ メッセージが再生される。

本実験では、「伝言ダイヤルごっこ」を行います。

録音時間は、本物の伝言ダイヤルと同様、30 秒に設定し、何を優先的に
伝えなければならないのかを考えてもらえると良いです。大事なことを簡潔
に伝える学習にもなります。



参) NTT 東日本 <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/index.html>

実験の前に

大雨のときを想像してみましょう。空は暗く、強く雨が降っています。近くで雷が鳴っています。夜で真っ暗のときもあります。停電しているかもしれ
ません。風が強く吹き、飛ばされているものがあるかもしれません。

お父さんお母さんは出かけています。こどもだけで留守番しています。

お母さんの携帯電話に電話してみましたが、つながりません。どんどん不
安になってきました。遠くのおじいさんのうちに電話してみましたが、つな
がりません。

テレビでは相変わらず大雨の状況が放送されています。気がつくと、伝言
ダイヤルのサービスが提供されたことが放送されました。

先にこのような状況をイメージし、伝言ダイヤルのことばを考えましょう。

用意するもの

紙(伝言を記入するために使う)、鉛筆

実験の準備

5~6 人のグループでおこなうと良いでしょう。

実験の手順

1. 伝言ダイヤルに録音するメッセージを各自考え、紙に書く。
 …話せる時間は **30 秒間**です。長いメッセージは適しません。
 「無事であること」
 「自宅にいること(あるいは避難所にいること)」
 「自宅には被害がないこと(あるいは被害にあったこと)」
 を最優先に伝えることが大事です。
 家族と一緒にいるのかも知らせることが重要です。



2. 5～6 人のグループを作り、A さんがメッセージを書いた紙を中央に置く。



3. A さんがメッセージを読み上げる。
 同時に B さんが 30 数える。
 …紙に書くスピードや声に出さずに読んだスピードと読み上げるスピードは異なります。30 秒間で話せることは少ないと気がつくと思います。



4. グループでメッセージを聞いた感想(よく分かったか、分かりにくかったか)を話し合い、どのようなメッセージが適しているか考える。



5. グループで考えたことを発表する。

期待される成果

○災害時の電話がつながりづらいときに、自分の状況を伝えることのできる **災害用伝言ダイヤル** というサービスがあることを知り、使い方を覚える。

実験に際してのポイント

災害用伝言ダイヤルについては、以下に詳しく記載されています。

NTT 東日本

(<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/index.html>)

災害用伝言ダイヤルは平常時は使用できず、サービスが提供が開始される際には、テレビ、ラジオ、NTT 東日本のホームページを通じお知らせされません。

災害用伝言ダイヤルの伝言登録、再生の利用可能な電話は、一般電話(ブッシュ回線、ダイヤル回線とも)、公衆電話、INS ネット 64・1500、光電話、災害時に NTT が避難場所等に設置する特設公衆電話です。また、携帯電話・PHS からも利用できます。

伝言録音時間は 30 秒、伝言保存期間は 48 時間、蓄積伝言数は最大 10 伝言(被災地により変動)です。

伝言の録音・再生を行うための伝言録音・再生料は無料ですが、通常の通話料金はかかります。

日時が限られていますが、体験利用もできます。

この実験の後に友だち同士で体験利用してみても良いでしょう。防災の日(9月1日)に学校で体験利用してみても良いでしょう。

【体験利用の可能な日時】

毎月 1 日 00:00～24:00

正月三が日 (1月1日 00:00～1月3日 24:00)

防災週間 (8月30日 9:00～9月5日 17:00)

防災とボランティア週間 (1月15日 9:00～1月21日 17:00)

伝言録音時間は 30 秒、伝言保存期間は 6 時間、蓄積伝言数は 10 伝言

また、家庭に戻ってから家族と伝言ダイヤルについて使い方を話し、家族にもこのようなサービスがあることを知っていただくと同時に、災害時にどのように利用するか家族で共通認識をもっていただきたいと思います。

参考資料

パソコンや携帯電話を利用した災害時の伝言板サービスも提供されています。

□インターネット

- ・災害用ブロードバンド伝言板(web171) (NTT 東日本)

被災地内の自宅や避難所などにあるパソコンや携帯電話などからインターネット上の伝言板(<https://www.web171.jp/>)にアクセスし、電話番号をキーにして、伝言の登録ができます。

登録可能な伝言は、以下のとおりです；

- テキスト : 100 文字(1 伝言あたり全角換算)
- 静止画ファイル : 1M バイト以下
- 動画ファイル : 10M バイト未満
- 音声ファイル : 1M バイト以下

□携帯電話・PHS

携帯電話の番号をキーにして、安否情報の書き込み・確認ができる電子掲示板です(他社携帯、PHS、パソコンからも確認できます)。

- ・ i モード災害用伝言板 (NTT ドコモ)

安否情報は、「無事です。」「被害があります。」「自宅に居ます。」「避難所に居ます。」の4つから選択し、任意で100文字以内のコメントを入力することができます。

- ・ EZweb 災害用伝言板 (KDDI)

安否情報は、「無事です。」「被害があります。」「自宅に居ます。」「避難所に居ます。」「コメント見て」の5つから選択し、全角100文字までのコメントを入力することができます。

- ・ SoftBank 災害用伝言板 (ソフトバンク)

安否情報は、「無事です」「自宅にいます」「被害があります」「避難所にいます」の4つから選択し、全角100文字までのコメントを入力することができます。

- ・ WILLCOM 災害用伝言板 (ウィルコム)

安否情報は、「無事です」「自宅に居ます」「被害があります」「避難所に居ます」「コメント」の5つから選択し、100文字までのコメントを入力することができます。